

事業名 みはしネットがしかける 地域・学校・家庭の連携強化事業
2019年度 新入学保護者・児童交流会

事業費（予算額）： 135,000 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業： 500,000 円）

P

事業の目的（解決を目指す課題）

三階小学校の新入生は複数の保育園・幼稚園からの入学してくるため、親子共に顔見知り少なく、つながりが希薄である。そのため入学前から親同士気楽にコミュニケーションが取りにくく、不安感がある。

- ① 保護者同士が気楽にコミュニケーションが取れる関係を作ること、孤立を防ぎ、安心して子育てできる環境を提供
- ② 新入学児童が学校生活を楽しみにできたり、地域とのつながりづくりのきっかけとする。

見込まれる成果

- ① 保護者の大半が参加し、連絡先を交換したり、入学への不安についてアドバイスをもらい、不安が軽減される。
- ② 新入学児童が小学生や地域住民と楽しく交流し、入学を楽しみにできたり、地域住民とのつながりができる。

D

事業の概要

- ① 三階小学校ミーティングルームで新入学の保護者同士の交流会を開催する。

【保護者交流会内容】 浜田親子応援プログラム（HOOP）体験 / みはしネット、はまだっ子共育プロジェクト、まちの縁側の取り組み紹介 / お茶を飲みながら保護者同士の交流タイム

- ② 体育館で新入学児童の交流会を開催する。

【児童交流会内容】 運動遊びプログラム（リーベ）の体験 / 新6年生や地域ボランティアと交流会

事前の動き

平成30年11月 交流会案内チラシの作成 / 学校説明会での交流会PRの方法を学校長に了解を得る。

運動遊びプログラム講師との打ち合わせ

学校説明会で保護者へ交流会のPR（チラシ、参加申込みハガキ配布）

平成31年 2月 交流会の新6年生ボランティア募集 / HOOPファシリテーターと打ち合わせ

当日

平成31年3月17日（日） 9:30～11:30 会場：三階小学校ミーティングルーム・体育館

参加人数：37名（児童と保護者19名、新6年生児童ボラ7名、子ども部会部員7名、HOOPスタッフ4名）

工夫したこと：参加者を募集するため新入生物品購入時などに声かけを行った。



なごやかに
保護者HOOP体験中



児童と新6年生
運動遊び体験中。
上級生が優しくフォロー



新6年生考案
しっぽりゲーム中
まって～！



入学を待ってます！
みんなで記念撮影

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

								○		
--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

・上記評価の理由

参加の保護者から「とても良い取り組みなので、たくさんの方が参加できたらいいの」という感想がありました。児童は、楽しげに新6年生や地域ボランティアと体験活動や交流をしていた。穏やかに接している上級生が頼もしく、安心感がありました。内容も充実したプログラムであり、さらに多くの保護者が参加できるよう検討が必要。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- * 参加人数を増やすための取り組み
- ・ 開催時期を検討する。
- ・ 告知の方法を検討する（保育園、幼稚園でもPR）
- ・ 学校の協力をさらに得る。